

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



洗ひ場の石の丸みや水温む

旭町 宝澤 房子

あらみよ
新御代のゆかし衣擦れ桐の花

仲町 玉野 研一

帰省子や一気ひらく黄水仙

西原町 児玉 久美子

曾孫なる臣の百日子供の日

南桜町 宮腰 幸子

悲喜もも黙し流るる花笈

緑町 池田 良子

郭公のひと声余生樂しめり

西岡町 渋谷 みさ子

来しかたの元号なつかし立夏なる

西岡町 金澤 頼子

新緑やすみし瞳の子らあそぶ

元町 印牧 安子

たとうし
畳紙を開ければ久し夏衣

仲町 坂部 和子

紅引いて前向きに生く夏鏡

元町 西崎 弘子

ふる里の山ぶとごころに朴の花

緑町 齋藤 嘉子

目に類に触れるものみな夏兆す

仲町 梅基 文子

出番待つボート並びて水光る

旭町 大河 博子

残雪の風老いの身を追いかけり

西岡町 岸波 君江

自転車の子らの立ちき青嵐

西岡町 杉浦 とし枝

五月晴れ百歳そりり鎌を持つ

藤本町 鈴木 ゆき子

鯉のぼり子等来て揚る口を待てり

東岡町 高草木 喜代子

飯付は天との勝負五月尽

西岡町 高瀬 久美子

優しさの令和や五月受け継がれ

東岡町 高橋 世津子

鳥の呼ぶ夏めく空へ野にきょう

西岡町 文梨 清子

開拓の兵舎古りゆく万緑化

仲岡町 芳賀 星子

ばんりよくか